

学校教育目標 確かな学力を身に付け 豊かな心と健やかな身体をもち 笑顔が輝く子を育てる

古河市立下大野小学校

本県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

茨城県総合計画

基本理念
「活力があり、県民が日本一幸せな県」

学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を引き出す
活力ある学校づくり

2025年度学校教育指導方針

◎校長のリーダーシップの発揮

学校教育目標の具現化へ向けた改革の推進

◎カリキュラム・マネジメントの確立

- ・学校教育目標と連鎖した PDCA サイクルの確立
- ・教員のパフォーマンス向上を図る働き方改革の推進

◎未来を拓く学びの展開

- ・問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実
- ・ICTの効果的な活用

◎安心して学べる環境の保障

- ・居場所づくりと絆づくりへの支援の充実
- ・教育相談の充実とチーム支援の確立

教職員の資質の向上

- 人間性豊かなで、高い使命感をもって教育にあたることができる
- 子どもの多様性を理解し、一人一人に寄り添った関係を築くことができる
- 子どもの実態や社会の変化を的確に捉え、効果的な学びをデザインできる
- 授業改善に向け検証と研修を重ね、実践的専門性を高めることができる
- 他の教職員と協働し、学校教育目標の具現化に資することができる

県西教育事務所の指導から

未来に向かって 高い志を持ち
たくましく生きぬく 人づくり
〔未来を拓く生きる力の育成〕

- 授業の中での人づくり
児童：主体的・対話的で深い学び
教師：子どもを主語とした学びへの転換
支援の方向性：させる→支える

校
勤
労

何事も一生懸命がんばろう

訓
自
治

自分のことは自分でしよう

至
誠

いつも誠実に生きよう

組織目標 自ら考え、進んで行動できる児童を育てる

自ら進んで ・ あいさつ ・ 外遊び

学校の姿

- ・安全が十分保障されている学校
- ・美しい環境の学校
- ・家庭や地域から信頼される学校

児童の姿

- ・自ら学び、考え表現できる子
- ・礼儀正しく、思いやりのある子
- ・身体をきたえ、がんばりぬく子

教師の姿

- ・強い情熱や使命感のある教師
- ・確かな指導力のある教師
- ・人間性豊かで活力に満ちた教師

学び合う（確かな学力） 学力向上プロジェクト わくわくプラン

〈重点項目〉

- 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図ります。授業において、児童相互の学び合いの充実を図り、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の向上に努めます。
- 「下大野小スタイル」の徹底と国語科を中心とした授業改善を図り、自ら考え、表現する活動とまとめと振り返りを重視します。
- ICTを活用した授業を実践し、個別最適な学びと協働的な学びを実現します。

〈達成目標〉

- | | |
|----------------|------|
| ① 自分の考えを伝える(児) | 70% |
| ② わかる授業(児) | 90% |
| ③ 県学力診断のためのテスト | |
| 学校平均 | 70点 |
| ④ 読書50冊の達成率 | 100% |

助け合う（豊かな心） 人間力向上プロジェクト ぽかぽかプラン

〈重点項目〉

- 自分から進んでできた行動を認め励まし、自己有用感を得られるように努めます。
- あいさつ運動やボランティア、特別活動を推進し、活躍の場をつくります。
- 道徳教育の充実に努め、教育活動全体で、人権意識の高揚を図ります。「思いやりの心」を育み児童の笑顔が多く見られるようにします。
- 小小・小中連携、幼児教育施設や高等学校との連携を図り、つながりのある教育を推進し、キャリア教育の充実に努めます。

〈達成目標〉

- | | |
|-------------------|-----|
| ① 元気よくあいさつ(児・保) | 85% |
| ② 自分から進んで行動 | 75% |
| ③ 目標をもって生活(児) | 90% |
| ④ 相手の気持ちを考えて行動(児) | 90% |

鍛え合う（健やかな身体） 健やかな体づくりプロジェクト いきいきプラン

〈重点項目〉

- 健康・安全教育を推進します。特に交通安全指導を充実させます。
- 体育の授業における活動量の確保と外遊びの励行により、体力づくりの充実と工夫に努めます。
- 基本的な生活習慣の育成に努めます。
- 食物アレルギーや心の問題など個に応じた配慮に努めます。
- 手洗い励行等による感染症対策や熱中症予防対策を継続します。

〈達成目標〉

- | | |
|---------------|-------|
| ① 体カテスト(A+B) | 60% |
| ② 肥満率 | 15%未満 |
| ③ う歯受診率 | 60% |
| ④ 並んで登下校(児・保) | 95% |
| ⑤ 進んで運動(児・保) | 73% |

古河市教育振興基本計画

「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」

古河市学校教育の目標

- 一人一人の個性や能力を伸ばし、確かな学びをはぐくむ
- 健やかな体をつくり、たくましい心を養う
- 郷土古河を愛し、豊かな心をつちかう

下大野小の特色ある教育活動

- ◎ 英語Day(毎週水曜日)を設定し、英語に親しみ、進んでコミュニケーションを図る取組を実施する。
- ◎ 保護者をはじめとする地域の人々の協力による体験学習を行う
 - ① おやじの会や農協の方々の支援によって児童が田植えや稲刈りを体験し、もち米の販売に向けラベル等を作成する。
 - ② 昔あそびボランティア等を招いてのお手玉、こま遊びなどの昔遊びを行う。
 - ③ 地域内の工業高校の先生や生徒を講師に招いて科学教室等を実施、交流する。
- ◎ 「子ども見守り隊」の地域ボランティア(40名)が児童の登下校の安全指導やあいさつ運動を行う。



一人一人の「生きる力」のために ～特別支援教育の充実～

- ① 教育的ニーズに応じた校内支援体制を整備
- ② 特別支援教育支援員の活用と家庭及び関係機関との連携の推進

地域とともにある学校づくりのために

- ① 学校だより、保健だより、ホームページ等を通して、学校の様子を伝え、開かれた学校をつくる。
- ② 学校運営協議会や地域学校協働活動を通して地域との連携・協働を強化し、ともに児童を育てる。
- ③ 学校評価の結果の説明と改善に努める。(RPDCAサイクル)
- ④ 「おやじの会」等と積極的に連携する。

信頼される 魅力ある教職員であるために

- ◎ コンプライアンスの遵守
 - ① コンプライアンス研修の充実「自分事、自分の学校事として」
 - ② 風通しのよい職場づくり「気付き合い 認め合い 磨き合い」
- ◎ 働き方改革の推進
 - ① 意識改革とICT活用により、児童と向き合う時間を確保する。
 - ② 働き方推進委員会の開催、定時退勤日の実践を推進する。



